



ど……。ある意味では「B級のゲテモノ映画」ともいえる本作が高く評価されている理由はそんなところに……？

## ■□■拒食症、過食症ならぬ異食症とは？その症状は？■□■

2015年11月に大腸ガン（直腸ガン）の手術をした私は、その後「食べること」と「出すこと」にかなり敏感になっている。それもあって、私は本作でハンターが見せる“異食症”の諸症状にビックリ！拒食症や過食症はよく知っているうえ、テレビでよく放映している“大食い競争”を観ていると、過食症はある意味“売りモノ”になる病気ともいえる。しかし、異食症って一体ナニ？

“氷をバリバリと噛みながら食べたい”程度の欲求はわかるし、ビー玉ぐらいなら飲み込めるかもしれないが、スクリーン上で見るハンターが画鋲を飲み込む姿にはビックリ！ハンターにはそれらの“食感がたまらない”そうだが、飲み込んだバッテリーの液が漏れたら死んでしまうのだから、異食症は怖い。あの夕食会の後にはハンターの妊娠が判明し、夫や夫の両親からの祝福を受けていたのに、なぜハンターはこんなことに……？

## ■□■その治療法は？原因は心の悩み？■□■

自分の可愛い女房にこんな病気が！ハンターの症状を知ったリッチーは「結婚前になぜそれを言わなかった！」と怒り狂ったが、そう言われてもハンターは困るだけ……。夫の両親もそんなハンターに絶望したのは当然だ。その結果、場合によれば、ハンターのお腹の中の子供は中絶させ、リッチーは離婚、再婚で再出発！当然そんな展開も考えられるが、本作は全く逆で、リッチーもリッチーの両親も何とかハンターの異食症を“治療”しようと思命になっていくことに。

その一つが、ハンターの監視役としてシリア系の男性ルアイ（ライト・ナクリ）を付けたことだが、誰がどう考えてもこれはヘン！男の監視役はいかにも不自然かつ不可能だ。その点、カーロ監督の心は如何に？もう一つは、ハンターに精神科の女医アリス（ザブリナ・ゲバラ）の診察を受けさせたこと。これは当然の処置だが、ハンターはアリスにどこまで心を開いて、その奥にある不安や悩みを打ち明けるの？

## ■□■ヒロインにはどんな出生の秘密が？■□■

本作は後半に入り、ハンターがアリスに対して「この件は大きな問題にしないで」と言いながら、自分の“出生の秘密”を打ち明けるところから物語は意外な方向に展開していく。両親の祝福を受けて、リッチーのような大富豪の御曹司が結婚するについては、当然妻の“身元調べ”をしているはずだが、本作ではその点があまり描かれなところもミソ。ハンターの両親は？結婚前のお仕事は？さらに過去の男関係は？

本作前半はそんな点を曖昧にしたまま、ハンターの異食症の症状ばかりに観客の目を集中させていたが、中盤に明らかにされるハンターの出生の秘密とは？そして、ハンターの本当の父親とは……？

リッチーが本当にハンターを愛していたのかどうかは正直よくわからないが、スクリーン上の展開を見ている限り、リッチーはハンターを愛していると言っているうえ、その立場を尊重していることがよくわかる。しかし、ハンターから出生の秘密を聞いたアリスが、当然負っているはずの職務上の“秘密保持義務”に平気で違反する姿を見ていると・・・？

### ■□■ヒロインの復讐は？■□■

“マカロニ・ウエスタン”ならぬ“ナシゴレン・ウエスタン”のものすごさにビックリさせられたインドネシア映画『マルリナの明日』(17年) (『シネマ 45』311頁) では、冒頭に観た7人の強盗団によるヒロインへのレイプシーンも見ものだったが、真打は剣ナタを持った“闘うヒロイン”の勇姿だった。

なぜ、ここにそんなことを書くの？それは、意外にも本作はラストに向けて「復讐もの」に向かっていくためだが、ハンターの復讐相手は一体誰？そして、それはどんな展開に？同作に比べると、本作に見るハンターの(復讐の)迫力はイマイチ(?)だが、リッチーとの決別を決めたヒロイン、ハンターが見せる復讐のシナリオは？

ここでそのネタバレが許されないのは当然だから、本作のヒロイン、ハンターの復讐の姿は、あなた自身の目でしっかりと。さらに、そこで“ある決着”をつけた後のヒロイン、ハンターの人生の選択は・・・？

2021 (令和3) 年1月22日記